

「乳腺サンプル(乳がん手術検体)を用いた腫瘍微小環境の解析」に関する研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	乳腺サンプル(乳がん手術検体)を用いた腫瘍微小環境の解析
所属(診療科等)	循環病態学教室(共同実施:乳腺・内分泌外科)
研究責任者(職名)	新藤 隆行(教授)
研究実施期間	医学部長による許可日～2031年7月31日
研究の意義、目的	乳がんの腫瘍微小環境(がんを取り巻く細胞や組織)を明らかにすることを目的とした研究で、将来の診断・治療法の開発に貢献すると考えられます。
対象となる方	2016年1月1日から2031年7月31日までの間に、信州大学医学部附属病院乳腺・内分泌外科で乳がんの手術を受けられ、診断後に検体が保管されている方(既にお亡くなりになった方を含む。30検体程度を予定)
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、病理診断(組織型・病期・ホルモン受容体等)、治療内容など／手術で摘出された乳腺組織(病理診断後の残余:パラフィン標本・凍結組織等)
研究方法	保管されている残余検体と診療記録を用い、病理組織学的な解析及び遺伝子の働き(遺伝子発現)を調べる解析(組織内の位置情報を保った網羅的解析や細胞ごとの解析を含む)により、私たちが重要と考えている因子と腫瘍微小環境との関わりを検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名):新藤 隆行(循環病態学教室・教授) 電話:0263-37-2578(平日 9:00～17:00)

既存の検体(手術で摘出され、診断に用いた後に保管されている乳腺組織の残り)及び診療記録を研究・調査・集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点

については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。 **なお、**

対象となる方が既にお亡くなりになっている場合は、ご遺族の方が上記問い合わせ先へお申し出いただけます。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使っていただくことがあります。